

第 4 回 館山市議会定例会会議録  
(第 4 号)



1 昭和60年12月21日(土曜日)午前10時

1 館山市役所議場

1 出席議員 27名

1 番 神田 守隆  
3 番 山中金治郎  
5 番 横溝 功  
7 番 榎本 春光  
9 番 福原 勤  
11 番 飯田 義男  
13 番 石井 昌治  
15 番 渡辺 昭夫  
17 番 近藤 好雄  
20 番 石井 武敏  
22 番 林 豊  
24 番 流山源次郎  
26 番 石井 正  
28 番 安澤 徳順

2 番 田沢 勝信  
4 番 小宮 利夫  
6 番 生稻 陸  
8 番 日下 君敏  
10 番 川名 正二  
12 番 石井 謀  
14 番 伊藤幸太郎  
16 番 松下 正己  
19 番 黒川 平治  
21 番 吉田勇治郎  
23 番 伊賀 多朗  
25 番 五十嵐 昇  
27 番 安西 益男

1 欠席議員 なし

1 出席説明員

市長 半澤 良一  
市長公室長 斉藤 武男  
民生 部長 鈴木 力  
水道 課長 石井 敏夫  
教育委員会 福原 修  
教育委員会 佐藤 輝雄  
選挙管理委員会 橋本 巖利  
選挙管理委員会 池田 六郎  
監査事務局 長  
農業委員会 長

収入役 山田 俊康  
総務 部長 川畑喜代志  
経済 部長 吉岡 政雄  
教育委員会 高橋 弘之  
選挙管理委員会 加藤 利  
監査 委員 鈴木 重司  
農業委員会 長 斎藤 明

1 出席事務局職員

第1号に同じ

1 議事日程(第4号)

昭和60年12月21日午前10時開議

- 日程第 1 { 議案第 5 4 号 館山市基本構想を定めることについて  
議案第 5 5 号 損害賠償の額の決定及び和解について  
議案第 5 6 号 昭和 6 0 年度館山市一般会計補正予算 (第 3 号)
- 日程第 2 議案第 5 7 号 昭和 6 0 年度館山市国民健康保険特別会計補正予算 (第 2 号)
- 日程第 3 議案第 5 8 号 昭和 6 0 年度館山市ユースホテル特別会計補正予算 (第 1 号)
- 日程第 4 { 請願第 4 号 快速列車の実現を求める請願書  
請願第 7 号 半澤市長問責決議及び監査の請求を求める請願書
- 日程第 5 請願第 8 号 国立病院・療養所の存続・拡充を求める意見書の提出を求める請願書
- 日程第 6 請願第 6 号 農業用水からの流水占用料徴収反対に関する請願書
- 日程第 7 議案第 5 9 号 館山市職員給与条例の一部を改正する条例の制定について
- 日程第 8 { 議案第 6 0 号 昭和 6 0 年度館山市一般会計補正予算 (第 4 号)  
議案第 6 1 号 昭和 6 0 年度館山市ユースホテル特別会計補正予算 (第 2 号)  
議案第 6 2 号 昭和 6 0 年度館山市水道事業特別会計補正予算 (第 1 号)  
議案第 6 3 号 昭和 6 0 年度館山市国民宿舎事業特別会計補正予算 (第 1 号)
- 日程第 9 議案第 6 4 号 人権擁護委員候補者の推薦について

開 議 午前 1 0 時 3 1 分

○議長 (流山源次郎君) 本日の出席議員数 2 7 名、これより第 4 回市議会定例会第 4 日目の会議を開きます。

### 議案の配付

○議長（流山源次郎君） 議案を配付いたさせます。議案の配付漏れはありませんか。——配付漏れなしと認めます。

本日の議事はお手元に配付の日程表により行います。

### 議案の上程

○議長（流山源次郎君） 日程第1、議案第54号乃至議案第56号の各議案を一括して議題といたします。

### 総務委員会委員長報告

○議長（流山源次郎君） ただいま議題となりました各議案は、ともに12月17日の本会議において総務委員会に付託されたものであります。

よって、これより各議案に対する総務委員会における審査の経過並びに結果につき委員長の報告を求めます。

総務委員会委員長山中金治郎君。御登壇願います。

（総務委員会委員長山中金治郎君登壇）

○総務委員会委員長（山中金治郎君） ただいま議題となりました議案第54号乃至56号に係る総務委員会におきます審議の経過並びに結果について御報告をいたします。

本総務委員会は、12月18日招集、出席議員8名、慎重に審議を重ねました。以下、その概要につきまして、整理いたしまして御報告申し上げます。

議案第54号館山市基本構想を定めることにつきましては、道路関係につきまして3点の質疑がありました。

1点目は、館山バイパスの進捗状況については、用地の買収率は10月末現在で66.16%、工事の着手の状況は延長5.2kmのうち40.4%である旨の説明がございました。

2点目の、八幡高井線の進捗状況につきましては、国道127号から杉井工業所までの間の地権者68件が買収済みで残る8件もよい方向に向かっている旨の説明がございました。

次に、富津館山線の改良整備につきましては、現在4市町で県に強く要望している段階であり、改良率は42%と聞いている等の答弁がございました。

次に、水資源開発、下水道関係、河川の整備についての質疑がございました。

海水の淡水化につきましては、建設費がトン当たり50万から60万かかり、浄水コストは稼働率、規模によって変化するが、償却費を除いてトン当たり300円程度かかる旨の説明がございました。

下水道の実施時期につきましては、種々問題があるので徐々に取り組んでいく旨の説明がございました。

河川対策につきましては、パトロールを強化して整備を進め、2級河川については県に強く要望し実施していく旨の答弁がございました。

次に、基本計画には載っていないが市庁舎の建設方針を打ち出してはどうかという質疑がございまして、当建物は昭和35年建設をして、あと事業量は増大し人員もふえているので狭隘になっており、以前に検討したことがあるが、約30億程度かかるとのことであった。補助金もそう多くは期待できないし、負担が大きいということで検討をやめてしまったいきさつがある。そのような事情があり基本計画の中には入れなかったが、今後議会の意見等を聞きながら検討を進めていきたいとの答弁がございました。

議案第55号損害賠償の額の決定及び和解についてでございますが、損害賠償額の内訳について質疑がありまして、賠償額につきましては総額で話し合いをしており、個々の内容については相手方との確認はしていないが、一応医療費通院13回で5万6030円、通院のための交通費3760円、慰謝料が23万3210円、休業補償費27万、後遺障害の慰謝料75万ということで積算した旨の答弁がございました。

議案第56号昭和60年度館山市一般会計補正予算でございますが、コミュニティ事業補助金、真倉集会所建設についての割合について質疑がありまして、補助対象経費が709万6000円、市のコミュニティ事業の補助金が177万、県の育成事業補助金が170万である旨の説明がございました。

乳児保育特別対策補助金につきまして、人数の把握についての質疑があり、当初予算は前年度実績により計上しておるが、その後本年度の乳児の入所がふえたということの補正である旨の説明がございました。

農地無断転用防止パトロール報償金についての質疑がありましたが、これは農業委員によるパトロールを行うその報償費である旨の説明がございました。

次に、地方債の繰上償還について質疑がございましたが、当市の財政状況をみると地方財政計画の指数より2ポイント乃至3ポイントの低下がここ数年続いており、自主財源の柱である市税の伸びは多くを見込めない状況にある。その中で過去衛生センター、清掃センター等の大規模プロジェクトが実施され、自主財源に多くを見込めない本市は起債に頼らざるを得ない状況にあり公債比率が非常に高くなってきている。さらに今後駅前開発等大規模プロジェクトが予想される中において、将来の財政の健全性維持のため当初予算また現時点における財政収支見通しから繰上償還が可能と判断し今回計上をいたしたという答弁がございました。

以上、付託を受けました議案はいずれも討論なく、原案どおり可決すべきものと決しました。

ここに総務委員会の審査の経過及び結果について御報告申し上げます。満場の御賛同をお願いを申し上げます。

◎議長（流山源次郎君） 以上で委員長の報告を終わります。

ただいまの委員長報告について御質疑ありませんか。——御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

これより討論を行います。通告はありませんでした。討論ありませんか。——討論なしと認めます。よって、討論を終結いたします。

## 採 決

◎議長（流山源次郎君） これより採決いたします。

採決は分割して行います。

まず、議案第54号について起立により採決を行います。

議案第54号についての委員長の報告は原案可決であります。

本案を委員長の報告どおり可決することに賛成の諸君の起立を求めます。

(賛成者起立)

○議長（流山源次郎君） 起立多数であります。よって、議案第54号は原案どおり可決されました。

次いで、議案第55号及び議案第56号について一括して採決いたします。

議案第55号及び議案第56号についての委員長の報告は原案可決であります。

各議案を委員長の報告どおり可決することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長（流山源次郎君） 御異議なしと認めます。よって、議案第55号及び議案第56号の各議案はいずれも原案どおり可決されました。

#### 議案の上程

○議長（流山源次郎君） 日程第2、議案第57号昭和60年度館山市国民健康保険特別会計補正予算第2号を議題といたします。

#### 文教民生委員会委員長報告

○議長（流山源次郎君） ただいま議題となりました議案第57号は、12月17日の本会議において文教民生委員会に付託されたものであります。

よって、これより本議案に対する文教民生委員会における審査の経過並びに結果につき委員長の報告を求めます。

文教民生委員会委員長松下正己君。御登壇願います。

(文教民生委員会委員長松下正己君登壇)

○文教民生委員会委員長（松下正己君） 去る17日開会の本会議におきまして本文教民生委員会に付託されました補正予算1件について、18日委員会を招集し、全委員出席のもと慎重に内容審査を行いました。

以下、委員会における審査の経過並びに結果について御報告申し上げます。



議案第57号昭和60年度館山市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）について全員一致をもって原案どおり可決すべきものと決定いたしました。

次に、審査の過程における主なる事項について申し上げます。

まず、高額療養費の増額の理由、病気の種類、他市の状況について説明を求めましたところ、高額療養費が増額になった理由としては医療技術の進歩が考えられ、病気の種類としては、がん、循環器系、心疾患であり、他市の状況については把握をしてないと説明がありましたので、今後考える中で他市の動向についても十分なる調査をし、比較資料等作成するよう要望いたしました。

次に、臨時職員賃金、印刷製本費、健康づくり推進委託料について説明を求めましたところ、臨時職員賃金については国が国民健康保険医療費適正化特別対策事業を行う中で、千葉県内で千葉市、大網白里町、館山市の3市町が対象となった、本市も一層充実を図るということで実施に伴い非常勤保健婦2名を指導助言を行うため採用するものであり、印刷製本費については健康づくりの知識普及のためのパンフレット1万冊作成に要するもの、健康づくり推進委託料は保健推進員112名により健康づくりのためのパンフレットの配付、老人家庭等の訪問を行うためのもので、補助率は100%であると説明がありました。

次に、高額療養費の対象者の中で、市が行っておる総合健診によって病気が発見されたものの割合について把握しておるかどうかを聞きただしましたところ、把握をしていないので今後検討するようにしたいとの答弁がありましたので、総合健診等実施している中で早期に適切な治療を指導するよう要望いたしました。

さらに、高額療養費100万円以上の対象は27件ということであるが、市内で加療しておるかどうかを聞きましたところ、ほとんどが市外での加療であると説明がありました。

次に、国保税の徴収率について前年度との比較ではどうかただしましたところ、11月末現在の徴収率は47.19%で前年対比0.21、金額として300万余円が落ち込んでいると説明がありました。

そこで、さらに不納欠損の状況について説明を求めました。本年度は

10月に不納欠損処分を行い、総額は687万5900円であったと説明がありました。

次に、今後の徴収方法について聞きましたところ、高額療養費支給時の納税相談、それ以外の医療費支給時の納税相談、通常の臨戸徴収を強化していく中で、国保税の場合、特に滞納金額が階層別の分類では30万未満の滞納者が90%であり、今後細かく足を運んで徴収にあたりたいと前向きな答弁がありました。

以上、本委員会における審査の概要について申し上げましたが、満場の皆さまの御賛同を賜りますようお願い申し上げまして、文教民生委員会委員長報告といたします。

○議長（流山源次郎君） 以上で委員長の報告を終わります。

ただいまの委員長報告について御質疑ありませんか。——御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

これより討論を行います。通告はありませんでした。討論ありませんか。——討論なしと認めます。よって、討論を終結いたします。

## 採 決

○議長（流山源次郎君） これより採決いたします。

議案第57号に対する委員長の報告は原案可決であります。

本案を委員長の報告どおり可決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（流山源次郎君） 御異議なしと認めます。よって、議案第57号は原案どおり可決されました。

## 議案の上程

○議長（流山源次郎君） 日程第3、議案第58号昭和60年度館山市ユースホステル特別会計補正予算第1号を議題といたします。

## 建設経済委員会委員長報告

○議長（流山源次郎君） ただいま議題となりました議案第58号は、12月17日の本会議において建設経済委員会に付託されたものであり

ます。

よって、これより本議案に対する建設経済委員会における審査の経過並びに結果につき委員長の報告を求めます。

建設経済委員会委員長日下君敏君。御登壇願います。

(建設経済委員会委員長日下君敏君登壇)

◎建設経済委員会委員長(日下君敏君) 今次定例会において建設経済常任委員会に付託されました案件は、第58号議案昭和60年度館山市ユースホステル特別会計補正予算第1号の1案件であります。

当該補正予算の審議の経過並びに結果の概要について御報告申し上げます。

本委員会は、去る19日午前10時から9委員全員が出席し、市庁舎内会議室で開催いたしました。

第58号議案の館山市ユースホステル補正予算は、当初予算に156万円の追加補正をいたそうとするものであります。

委員会は、まず追加補正額156万円の内容について補足説明を求めましたところ、工事請負費として82万円、備品購入費として74万円、計156万円で、その内訳は工事費が老朽化した倉庫及び更衣室を新設する、また備品費は野外用ベンチ5台、ポット、毛布等を購入するものであるとの説明がありました。

また、同ホステルの経営について、県の委託金と利用者の負担金つまりは宿泊料の関係について尋ねましたところ、60年度予算での県委託金は2259万円、一方宿泊料、食料等の歳入は1250万円で簡単に言えば年間約1000万円の赤字であるとのことでありました。

一方、利用者数の状況は60年度で約5100人を見込んでいるけれども、年々減少の傾向にあるとのことでありました。

この案件に関連し、宿泊料の概要について聞きただしましたところ、宿泊料は高校生以上1泊1300円、中学生以下1100円、食料は高校生以上700円、中学生以下500円とのことで、これは全国78カ所のユースホステルの中で最低額の部類にあるとの説明がありました。

以上の審議の後、採決に入りましたが、採決は全員一致をもって原案どおり可決するものと決定いたしました。

以上が建設経済委員会に付託されました議案の審議経過並びに結果についての委員長報告といたします。

◎議長（流山源次郎君） 以上で委員長の報告を終わります。

ただいまの委員長報告について御質疑ありませんか。——御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

これより討論を行います。通告はありませんでした。討論ありませんか。——討論なしと認めます。よって、討論を終結いたします。

### 採 決

◎議長（流山源次郎君） これより採決いたします。

議案第58号に対する委員長の報告は原案可決であります。

本案を委員長の報告どおり可決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（流山源次郎君） 御異議なしと認めます。よって、議案第58号は原案どおり可決されました。

### 請願書の上程

◎議長（流山源次郎君） 日程第4、請願第4号快速列車の実現を求める請願書並びに請願第7号半澤市長問責決議及び監査の請求を求める請願書を一括して議題といたします。

### 総務委員会委員長報告

◎議長（流山源次郎君） ただいま議題となりました請願第4号は、去る6月の第2回市議会定例会において総務委員会に付託され、継続審査に付されていたものであります。請願第7号は、12月17日の本会議において総務委員会に付託されたものであります。

よって、これより各請願書に対する総務委員会における審査の経過並びに結果につき委員長の報告を求めます。

総務委員会委員長山中金治郎君。御登壇願います。

（総務委員会委員長山中金治郎君登壇）

◎総務委員会委員長（山中金治郎君） ただいま議題となりました請願

書の審査の概要につきまして御報告申し上げます。

まず、請願第4号快速列車の実現を求める請願書についてであります  
が、本請願書につきましては去る6月定例会において総務委員会に付託  
され、その後継続審査となっていたものでありまして、12月9日本委  
員会を招集し、審査を行いましたところ、実現性も極めて困難であり、  
現状での要望は無理であるとの意見があり、賛成少数をもって不採択と  
いたしました。

次に、請願第7号半澤市長問責決議及び監査の請求を求める請願書に  
つきましては、12月17日の本会議におきまして総務委員会に付託さ  
れたものでありまして、12月18日招集の本委員会におきまして審査  
を行いましたところ、今後このような事件を起こすことのないようされ  
たいとの意見がありまして、採決の結果、賛成者がなく不採択と決しま  
した。

以上で委員長報告を終わります。

○議長（流山源次郎君） 以上で委員長報告を終わります。

ただいまの委員長報告について御質疑ありませんか。——御質疑なし  
と認めます。よって、質疑を終結いたします。

これより討論を行います。通告はありませんでした。討論ありません  
か。——討論なしと認めます。よって、討論を終結いたします。

### 採 決

○議長（流山源次郎君） これより採決いたします。

採決は分割して行います。

まず、請願第4号について起立により採決いたします。

請願第4号についての委員長の報告は不採択であります。

本請願書を委員長の報告どおり不採択と決めますことに賛成の諸君の  
起立を求めます。

（賛成者起立）

○議長（流山源次郎君） 起立多数であります。よって、請願第4号は  
不採択と決しました。

次いで、請願第7号について起立により採決いたします。

請願第7号についての委員長の報告は不採択であります。

本請願書を委員長の報告どおり不採択と決めますことに賛成の諸君の起立を求めます。

(賛成者起立)

◎議長(流山源次郎君) 起立多数であります。よって、請願第7号は不採択と決しました。

#### 請願書の上程

◎議長(流山源次郎君) 日程第5、請願第8号国立病院・療養所の存続・拡充を求める意見書の提出を求める請願書を議題といたします。

#### 文教民生委員会委員長報告

◎議長(流山源次郎君) ただいま議題となりました請願第8号は、12月17日の本会議において文教民生委員会に付託されたものであります。

よって、これより本請願に対する文教民生委員会における審査の経過並びに結果につき委員長の報告を求めます。

文教民生委員会委員長松下正己君。御登壇願います。

(文教民生委員会委員長松下正己君登壇)

◎文教民生委員会委員長(松下正己君) 去る17日開会の本会議におきまして本文教民生委員会に付託されました請願第8号国立病院・療養所の存続・拡充を求める意見書の提出を求める請願について18日委員会を招集し、全委員出席のもと慎重に内容審査を行いました。

以下、委員会における審査の経過並びに結果について御報告申し上げます。

請願第8号について賛成者はなく、不採択と決しました。

次に、審査の内容について申し上げます。

対象となった松戸、柏の病院はどのような病院であるか説明を求めましたところ、両病院とも一般の診療を行っている病院のようで、県に紹介したところ、国立病院は特殊で高度な医療を行うべき機関であるという本来の考え方に基づいて両病院を廃止して、新たな土地に1機関を設

立するとの回答があったと説明がされました。

そこで、次に討論を行い、厚生省の考えは300ベッド以下の病院を廃止して大きな病院とし、高度の医療を行っていくということであり、そのような方向に進むべきだと考えるので、本請願に対し反対との討論がありました。

以上、本委員会における審査の概要を申し上げましたが、満場の皆さまの御賛同を賜りますようお願い申し上げまして、文教民生委員会委員長報告といたします。

◎議長（流山源次郎君） 以上で委員長の報告を終わります。

ただいまの委員長報告について御質疑ありませんか。——御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

これより討論を行います。通告はありませんでした。討論ありませんか。——討論なしと認めます。よって、討論を終結いたします。

### 採 決

◎議長（流山源次郎君） これより採決いたします。

採決は起立により行います。

請願第8号についての委員長の報告は不採択であります。

本請願書を委員長の報告どおり不採択と決しますことに賛成の諸君の起立を求めます。

（賛成者起立）

◎議長（流山源次郎君） 起立多数であります。よって、請願第8号は不採択と決しました。

### 請願書の上程

◎議長（流山源次郎君） 日程第6、請願第6号農業用水からの流水占用料徴収反対に関する請願書を議題といたします。

### 建設経済委員会委員長報告

◎議長（流山源次郎君） ただいま議題となりました請願第6号は、12月17日の本会議において建設経済委員会に付託されたものでありま

す。

よって、これより本請願に対する建設経済委員会における審査の経過並びに結果につき委員長の報告を求めます。

建設経済委員会委員長日下君敏君。御登壇願います。

(建設経済委員会委員長日下君敏君登壇)

○建設経済委員会委員長(日下君敏君) 本委員会に付託されました請願第6号について、その審査及び結果の概要を御報告申し上げます。

請願第6号は農業用水からの流水占用料徴収反対に関する請願書であります。

当該請願は河川から取水する農業用水について、国は来年度から流水占用料を徴収するおそれがあるので、これに反対するという趣旨の請願であります。

この請願につきまして、まず初めに国は来年度61年度は占用料徴収をしないことになったとも聞いているがどうかとたしましたところ、そのような話を聞いてはいるが、まだ正式に通知はきていないとのことでありました。

そこで、来年徴収しなくなったとしても、将来もずっとそうなるかとたしましたところ、仮に来年度徴収しないことになっても62年以降はわからない、徴収の可能性は十分にあるやに聞いているとの答弁がありました。

次に、現在館山市で水利権を持っている水利組合はどのくらいあるかを尋ねましたところ、汐入川系に4組合、平久里川系に4組合、2級河川以外では巴川系に3組合あるとのことでありました。

また、流水占用料について河川法との関連について説明を求めたところ、当該占用料については旧河川法——これは戦前の法律であります、旧河川法の国会審議の際、農業用水については流水占用料の対象からはずすことで法律が成立し、これが現行河川法で踏襲されているというふうに聞いているとの説明がありました。

以上の質疑の後、採決を行いました結果、全員一致をもって当該請願書を採択する旨を決定いたしました。

以上、御報告申し上げます。



○議長（流山源次郎君） 以上で委員長の報告を終わります。

ただいまの委員長報告について御質疑ありませんか。——御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

これより討論を行います。通告はありませんでした。討論ありませんか。——討論なしと認めます。よって、討論を終結いたします。

### 採 決

○議長（流山源次郎君） これより採決いたします。

請願第6号についての委員長の報告は採択であります。

本請願書を委員長の報告どおり採択と決めますことに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（流山源次郎君） 御異議なしと認めます。よって、請願第6号は採択と決しました。

### 日程の追加

○議長（流山源次郎君） お諮りいたします。

ただいま採択されました請願書に附帯して発議案第1号農業用水から流水占用料を徴収することに反対する意見書についてが提出されました。

この際、本案を日程に追加し、議題といたしたいと思います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（流山源次郎君） 御異議なしと認めます。よって、本案を日程に追加し、議題とすることに決しました。

### 議案の上程

○議長（流山源次郎君） 発議案第1号農業用水から流水占用料を徴収することに反対する意見書についてを議題といたします。

議案を配付いたさせます。

（議案配付）

○議長（流山源次郎君） 議案の配付漏れはありませんか。——配付漏

れなしと認めます。

議案の朗読を願います。

(書記朗読)

◎議長(流山源次郎君) 朗読は終わりました。

#### 議案の内容説明

◎議長(流山源次郎君) 議案の説明を求めます。

(8番議員日下君敏君登壇)

◎8番(日下君敏君) 発議案第1号農業用水から流水占用料を徴収することに反対する意見書について御説明申し上げます。

国民の食糧を供給する農業にとって農業用水は欠くことのできない生産手段であり、その安定的確保を図るため昔から多大の労力が払われ、整備開発されてまいったことは御承知のとおりであります。

このような状況にかんがみて、従来から徴収免除の措置をとられてきた農業用水からの河川占用料徴収について、今後この措置の継続がなされるよう要望いたしたく、ただいま採択されました請願の趣旨を体しまして、お手元に配付のとおり8名の賛成者を得まして本案を提出いたしました次第であります。

満場の御賛同を賜りますようお願いいたしまして、提案理由の説明といたします。

◎議長(流山源次郎君) これより質疑を行います。御質疑ありませんか。——御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

#### 委員会付託の省略

◎議長(流山源次郎君) お諮りいたします。

本案については委員会付託並びに討論省略、直ちに採決することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

◎議長(流山源次郎君) 御異議なしと認めます。よって、決定いたしました。

## 採 決

○議長（流山源次郎君） これより採決いたします。

本案を原案どおり可決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（流山源次郎君） 御異議なしと認めます。よって、本案は原案どおり可決されました。

## 議案の上程

○議長（流山源次郎君） 日程第7、議案第59号館山市職員給与条例の一部を改正する条例の制定についてを議題といたします。

議案の朗読を省略いたします。

## 議案の内容説明

○議長（流山源次郎君） 議案の説明を求めます。

（市長半澤良一君登壇）

○市長（半澤良一君） 議案第59号館山市職員給与条例の一部を改正する条例の制定について提案理由の説明を申し上げます。

本年8月7日付の人事院勧告に基づきまして、等級構成の再編整備を含めた国家公務員の給与改定が行われ、また県職員につきましても県人事委員会の勧告に基づきまして国と同様の改定がすでに行われております。本市におきましても、これに準じて改定いたしたく、給与条例の一部を改正しようとするものでございます。

改正の主な内容は、行政職給料表を6等級制から8級制に、教育職給料表を3等級制から3級制に、また最も下位の級をそれぞれ1級に改め、一般職職員に適用する給料表、その他扶養手当、住居手当、通勤手当についても改定し、本年7月1日にさかのぼって適用しようとするものでございます。

そのほか、条文の整備を行うものと、職務の級に改めることに伴い関係する条例についてあわせて一部改正しようとするものでございます。

よろしく御審議のほどお願いいたします。

○議長（流山源次郎君） 説明は終わりました。

## 質 疑 応 答

○議長（流山源次郎君） これより質疑を行います。

御質疑ありませんか。

○1番（神田守隆君） 給与条例の改正についてお尋ねいたします。

1つは、今度の給与改正にあたって、国、県に準じたということですが、この職員の給与に関しては人事院制度があり、県人事委員会の勧告内容が尊重されなければならないと思うわけであります。こうした点から今回の人事委員会の勧告の実施時期について、今回の給与改正は7月1日から実施ということですが、たしか実施時期については4月からではなかろうかというふうに思うわけですが、この点についてはどうなのか。

そして、人事委員会の内容を実施しないとすれば、その理由は何なのか。

次に、職務を6等級制から8級制にしたということですが、この8級制にした理由について、国、県に準じてというような今の提案説明ありましたが、館山市の人事管理というような視点から見た場合にどのような問題がこれまであって、それとの関係でどうなのかということです。3等級あるいは2等級については、それぞれ新しい8級制のもとでは3級、4級、あるいは5級、6級ということで、それぞれ区分がされるということになるかと思いますので、それぞれの区分の基準なりというのはどのようなお考えでされておるのかお聞かせを願いたいと思います。

○総務部長（川畑喜代志君） 神田議員の御質問にお答えします。

まず、実施時期の問題でございますが、人事院の勧告あるいは県の人事委員会の勧告、いずれも4月1日にさかのぼってという内容の勧告であったわけですが、今回私ども提案申し上げましたのは7月1日適用ということですが、国におきましては人事院の勧告があったわけですが7月1日からの遡及適用、県におきましても同じく人事委員会の勧告は4月1日にもかかわらず7月1日から適用ということになりまして、私どもといたしましては従来から国、県に準じました改正をやってきた

ということで、今回も国、県に準じた形で7月1日からさかのぼって適用したいということでございます。

その理由と申しましては、やはり現下の財政状況を勘案いたしますと4月1日から適用になりますとさらに相当な金額を要するというものでありまして、国、県におきましてもそういうことでやっておりますので、私どもも同じような状況でございます。

それから、8級制にした理由でございますけれども、これも国、県がそれぞれ等級を拡大いたしました、国につきましては従来の8等級制が11級制、それから県におきましては6等級制が10級制ということでそれぞれ職務、区分に従った格づけをしたいということで、その職務給と申しますか、クラスを分けたわけでございます。

市におきまして、従来は県と同様の給料表を使っておりまして——若干違いますけれども、基本的には県と同様の給料表を使っておりまして、5等級から特1等級までと6等級の区分があったわけですが、私どももいろいろ従来から考えておったわけですが、そのクラスの中でいろいろ職務が混在している——混在と申しますか、たとえば申し上げれば、現行の3等級では係長と主査という2つの職がその位置づけになっておるわけですが、やはり係長と主査というのは仕事の内容が違ふんじゃないかということをかねがね思っていたわけです。同様に2等級につきましても課長補佐と主幹補という2つの職がそこに位置づけられまして同じ給料をもらっていたわけです。

そういうような問題意識あったところに今回国、県におきましてもそのような問題意識を再認識した上で等級を拡大したということがございましたものですから、私どもも従来から考えておったその職務と責任に応じた給与をそれぞれ支給したいということがありましたものですから、このような形で6等級制から8級制ということで考えたわけでありまして、

以上でございます。

○1番（神田守隆君） 国、県に準じて7月1日から実施する、しかも財政上の理由から大変膨大な資金が必要になるんだ、こういう御説明ですが、本来給与の問題というのはそういうことで値切りするべき筋のものではないというふうに思うわけです。その点で4月1日からやった場

合に幾ら大体ふえるのか、概算、どういうふうにお考えか。どのくらい財政的に余計にかかるのか。その点についてお答えください。

○総務部長（川畑喜代志君） 今回の給与改定に伴いまして8500万ほどの——これは一般会計でございますけれども、所要額がございまして、もし、これを4月1日にさかのぼらせますと、さらに4500万ほどの追加財源が必要ということになります。以上です。

○議長（流山源次郎君） 他に御質疑ありませんか。——御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

#### 委員会付託の省略

○議長（流山源次郎君） お諮りいたします。

本案については委員会の付託を省略いたしたいと思います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（流山源次郎君） 御異議なしと認めます。よって、委員会の付託を省略することに決しました。

これより討論を行います。討論ありませんか。——討論なしと認めます。よって、討論を終結いたします。

#### 採 決

○議長（流山源次郎君） これより採決いたします。

採決は起立により行います。

本案を原案どおり可決することに賛成の諸君の起立を求めます。

（賛成者起立）

○議長（流山源次郎君） 起立多数であります。よって、本案は原案どおり可決されました。

#### 議案の上程

○議長（流山源次郎君） 日程第8、議案第60号乃至議案第63号の各議案を一括して議題といたします。

各議案の朗読は省略いたします。

### 議案の内容説明

○議長（流山源次郎君） 議案の説明を求めます。

（市長半澤良一君登壇）

○市長（半澤良一君） 議案第60号昭和60年度館山市一般会計補正予算第4号でございますが、歳入歳出予算の補正といたしまして歳入歳出それぞれ3427万5000円を追加し、総額99億2423万5000円としようとするものでございます。

この内容といたしましては、先ほど御説明申し上げました給与改定に伴うもので、各款にわたる人件費の補正でございます。当初予算におきまして改定分として1%相当額を計上いたしましたが、今回この改定額に不足する額並びに職員の異動等に伴う過不足額についてもあわせて補正しようとするものでございます。

なお、この補正財源といたしましては、全額普通交付税をもって充当しようとするものでございます。

次に、議案第61号乃至議案第63号の昭和60年度各特別会計に係る補正予算につきましては、一般会計と同様に給与改定に伴う改正額等について補正しようとするものでございます。

なお、これらの補正財源といたしましては、県支出金及びその他一般財源をもってそれぞれ充当しようとするものでございます。

よろしく御審議のほどお願いいたします。

○議長（流山源次郎君） 説明は終わりました。

これより質疑を行います。御質疑ありませんか。——御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

### 委員会付託の省略

○議長（流山源次郎君） お諮りいたします。

本案については委員会の付託を省略いたしたいと思います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（流山源次郎君） 御異議なしと認めます。よって、委員会の付

託を省略することに決しました。

これより討論を行います。討論ありませんか。——討論なしと認めます。よって、討論を終結いたします。

#### 採 決

○議長（流山源次郎君） これより議案第60号乃至議案第63号について一括して起立により採決いたします。

各議案を原案どおり可決することに賛成の諸君の起立を求めます。

（賛成者起立）

○議長（流山源次郎君） 起立多数であります。よって、議案第60号乃至議案第63号の各議案はいずれも原案どおり可決されました。

#### 議案の上程

○議長（流山源次郎君） 日程第9、議案第64号人権擁護委員候補者の推薦についてを議題といたします。

議案の朗読を願います。

（書記朗読）

○議長（流山源次郎君） 朗読は終わりました。

#### 議案の内容説明

○議長（流山源次郎君） 議案の説明を求めます。

（市長半澤良一君登壇）

○市長（半澤良一君） 議案第64号人権擁護委員候補者の推薦についてでございますが、人権擁護委員1名の方が本年8月31日をもって退任され、人権擁護委員法第6条第3項の規定により候補者の推薦を求められておりますので、太田博雄さんを最適任者といたしまして御推薦申し上げ、御了承いただきたく存じます。

よろしく願いいたします。

○議長（流山源次郎君） 説明は終わりました。

これより質疑を行います。御質疑はありませんか。——御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。



### 委員会付託の省略

○議長（流山源次郎君） お諮りいたします。

本案については委員会付託並びに討論省略、直ちに採決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（流山源次郎君） 御異議なしと認めます。よって、決定いたしました。

### 採 決

○議長（流山源次郎君） これより採決いたします。

本案を原案どおり可決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（流山源次郎君） 御異議なしと認めます。よって、本案は原案どおり可決されました。

### 閉 会 午前 11 時 25 分

○議長（流山源次郎君） 以上で本定例会に付議されました案件は議了いたしました。

よって、これにて第4回市議会定例会を閉会いたします。

### ○本日の会議に付した事件

- 1 議案第54号乃至議案第64号
- 1 請願第4号、請願第6号乃至請願第8号
- 1 日程の追加・発議案第1号

地方自治法第123条第2項の規定により署名する。

館山市議会議長 流 山 源 次 郎

館山市議会議員 山 中 金 治 郎

館山市議会議員 石 井 正

